【項目1】　教育理念・目的・目標

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	3	シラバス 学生生活の手引き パンフレット HP

①状況説明

【教育理念】公平無私に市民へ奉仕する公務員の育成と、経済活動を推進できるバランス感覚の優れた豊かな人間性を持つ人材を育成し、社会に貢献する

【養成する人材像】本学は公務員たらんと希望するものにその夢をかなえさせ、法を学ぼうとするものに実践的な法知識を身につけさせることを目指している。そのためにも『将来公務員として、自ら公的な存在を自覚し、公平で公正な精神を常に維持し、住民の喜びを自らの喜びとする心』や『法を遵守し公正な行動』が必要であり、本学はバランスのとれた考えができ、基本的な問題において誤ることのない人材を育成していく。

②課題及び今後の改善方策

社会から求められる公務員像を常に確認し、公務員として必要とさせる知識や技術を習得できるカリキュラムを構築する。

③特記事項（優良な取組等）

選択科目を利用し、各学生が求める知識や技術を学べる科目を新規に設定。（ITパスポート・簿記・基礎体力向上など）

消防団活動やボランティア活動を積極的に取り入れ、地域との交流や治安の維持向上に努めている。

【項目2】教育課程、教育の実施、学修成果

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育課程の編成と授業科目	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	3	教育課程編成委員会議事録 シラバス
	②外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を300時間以上開設していること。 【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】		当校では外国人留学生を受け入れていない
2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3	シラバス 学生生活の手引き 小テスト得点表
	②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。【注）職業実践専門課程】	2	シラバス パンフレット 学則
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	3	シラバス 学生生活の手引き カリキュラム検討委員会議事録
4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	3	シラバス 就職活動状況表 資格取得結果一覧
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	3	就職活動状況表

①状況説明

公務員試験の合格率は過去最高の結果を得ることができた。公務員との連携は受け入れ先が少なく、難しく感じる。
その中でもできることを模索し、学生たちが実践的に学べる場を提供していきたい。

②課題及び今後の改善方策

企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合は具体的に示せていない。そのため、割合を算出し、明示することで対応する。

③特記事項（優良な取組等）

実務教育出版社による公務員ガイダンス
各種公務員業務説明会
消防団活動
面接強化週間

【項目3】学生の受入れ学生支援

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	3	募集要項
	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。 【注)修学支援新制度機関要件の確認】 【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	3	募集要項
2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	2	シラバス 模擬試験結果
3 多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	2	組織図
	②特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されていること。 【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】		
4 学生生活に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	3	学生生活の手引き
	②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	3	学生生活の手引き 学生面談記録
	③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	2	健康診断書 年間行事予定表
	④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	募集要項 奨学金説明資料
	⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2	連携実習・演習等にかかる覚書 シラバス

①状況説明

学生募集や支援においては、広報部や学生部と連携し実施している。生活安全センターや中央コミュニケーションサロンを設置し、学生が安心して学生生活を送れるようなサポート体制も整っている。

②課題及び今後の改善方策

障害者に対するバリアフリーへの対応が不十分であると感じている。また、学生の抱える不安や悩みは、より多様化していくと考えられるため、対応するための施設や組織の構築が必要であると考える。

③特記事項（優良な取組等）

生活安全センター
中央コミュニケーションサロン

【項目4】教育実施組織・教員員

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	2	HP 求人票
	②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	3	時間割 教員アンケート 実務経験者一覧
2 教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	3	校務分掌 組織図 担任一覧
	②教員間で連携、協力体制を構築していること。	3	職員会議議事録
3 教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	3	教職員全体研修資料
	①-2特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。【注）職業実践専門課程】	3	実務教育出版研修会資料 前橋警察署協議会資料 応急手当普及員講習会
	②教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。 【注）職業実践専門課程】	2	教職員全体研修資料 実務教育出版研修会資料

①状況説明

職員の不足や高齢化が進んでおり、職員一人に対する仕事量が増加している。日常業務により自己啓発の時間を取ることが難しくなってきている。

②課題及び今後の改善方策

職員採用が課題の一つであると感じている。若手職員がおらず、職員の年齢幅に偏りがみられる。

③特記事項（優良な取組等）

実務教育出版研修会
公務員コースを持つ専門学校への視察

【項目5】教育環境

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	3	教室配置図 備品点検
	②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	2	教室配置図
	③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。	2	教室配置図
2 安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	3	防災マニュアル 避難訓練実施要領
	②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	3	防災マニュアル 避難訓練実施要領
3 施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	2	電気工作物次月点検報告書
	②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	2	資産管理帳簿

①状況説明

自習室や食事スペースの確保という点において、十分な場所を確保できていない。

②課題及び今後の改善方策

施設や設備の老朽化を感じるため、計画的に対応していきたい。

③特記事項（優良な取組等）

【項目6】教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	3	中期経営計画
	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	2	決算書
2 学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	3	理事会・評議員会議事録
3 学校評価の実施と改善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	3	学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録
	①-2特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年２回以上開催していること。【注）職業実践専門課程】	3	教育課程編成委員会議事録
	②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	3	学校関係者評価委員会議事録 ホームページ
	③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	2	学校関係者評価委員会議事録
4 社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	2	HP インスタグラム 学校関係者評価委員会議事録
	②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。	2	年間行事予定表

①状況説明

学生たちが行っている取り組みを社会へ発信する場を少なく感じている。

②課題及び今後の改善方策

フィールドワークや成果発表の場において、外部機関より審査員を招き、意見や評価をしていただく。

③特記事項（優良な取組等）